

シンポジウム

松本で フィルム アーカイブ を考える

— 市民が記録した映像の保存と活用 —

2022年

2月16日(水) 18:30～21:00 (終了予定)

まつもと市民芸術館 小ホール

(オンライン開催に変更する場合があります)

参加費：無料 *要予約(定員：50名。定員に達し次第、締め切らせていただきます。詳細裏面)

主催：信州大学人文学部(部局プロジェクト「地域とともに創る学び合いの場—文化芸術教育資源を活用した、地域活性化手法の確立と発展をめざして—」)

協力：信州大学 大学史資料センター、信州大学附属図書館 後援：松本市教育委員会

写真：8mmシネカメラ キヤノン レフレックスズーム8

1959年(昭和34年)に発売された8ミリフィルム(ダブル8)の撮影機。発売当時の価格は47,700円、公務員の大卒初任給 10,200円、映画館が160円の時代だった。



松本でフィルムアーカイブを考える

ー市民が記録した映像の保存と活用ー

1960年代半ばから80年代にかけて、8mmフィルムは人々が手にした日常的な映像メディアとして普及しました。個人的に記録されてきた映像は、街の姿や文化風習など、地域を記録したものも多く含まれており、時代の空気を色濃く映し出す記録として、新たな価値を持ちはじめています。しかし撮影から半世紀を経た今、フィルムは押し入れの肥やしとなり、その多くが再生されることなく散逸の危機的状況にあります。災害によって失われることも稀ではなく、フィルム収集は年々困難になってきています。こうした状況をうけて、第1部では、三好大輔氏に「地域映画づくり」という観点から、実際の映像作品を通して、教育や福祉の現場との連携の成果についてご報告いただきます。第2部では、とちぎあきら氏にフィルムアーカイブ事業の意義と国内外の現状についてお話いただき、さらに映画研究・博物館学など関連領域の専門家のご意見を伺いながら、フィルムアーカイブのあり方、松本さらには信州で期待される事業の将来像についてお話しします。コミュニティのなかに潜む過去の記憶を、未来のコモンへと育て上げていくプロジェクトです。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

第一部 事例紹介



▶ 上映「浦賀の映画学校」 監督：三好大輔（2021年）

横須賀市の浦賀奉行所開所300周年記念事業として行われた「浦賀の映画学校」プロジェクト。浦賀小学校6年生74人が主体となり総合的な学習の時間を使って行われた地域映画づくり。地域と教育が連携したプロジェクトを追った作品。YouTubeで公開され1万8千ビューを超えている。

浦賀の映画学校



▶ トーク「地域と教育を結ぶ地域映画」 地域映画の教育現場との連携の成果について

講師：三好大輔（映画監督/プロデューサー、アルプスピクチャーズ代表）

1995年映像制作会社入社。音楽映像を中心にCM・ドキュメンタリーなどを手がける。広告会社を経て2005年独立。2008年より東京藝術大学講師。8mmホームムービーを使った映画づくりをはじめ。2015年株式会社アルプスピクチャーズ設立。昭和の8mmを掘り起こし市民と共創する映画作りを地域映画と名付け全国で活動する。松本在住。



第二部 現状と展望

▶ 講演「きっと何かが見つかる」 価値発見のインターフェイスとしてのアーカイブ

講師：とちぎあきら（フィルムアーキビスト、一般社団法人日本映像アーキビスト協会会長）

『月刊イメージフォーラム』編集長などの職を経て、2003年より15年間、東京国立近代美術館フィルムセンター（現・国立映画アーカイブ[NFAJ]）研究員として、映画フィルムの収集保管、保存復元、アクセス対応に従事。現在、NFAJ特定研究員としてサイト「関東大震災映像デジタルアーカイブ」の構築に関わるとともに、フリーの立場で映画保存の仕事に携わっている。



▶ 全体討論 テーマ「市民が記録した映像の保存と活用」

登壇者：三好大輔 × とちぎあきら × 飯岡詩朗 × 福島正樹 進行：金井直（美術研究、信州大学人文学部教授）

飯岡詩朗 信州大学人文学部教授。専門はアメリカ映画史・映像文化研究。近年は1950年代アメリカの映像メディア間の浸透や収束を主な研究対象とする。長野県の映画文化の歴史に関する調査・研究も行っており、2020年には松本市旧制高等学校記念館において「松本の街と映画館が学校だったー旧制松高/信大文理学部時代の熊井啓」展を企画・開催。

福島正樹 信州大学 大学史資料センター特任教授。専門は博物館学、アーカイブズ。上智大学大学院修了後、長野県教育委員会文化財・生涯学習課（県立歴史館準備室）、長野県立歴史館に学芸員として勤務の後、現在、信州大学 大学史資料センターにて学芸員養成、大学資料のアーカイブに携わる。松本市出身。『長野県の歴史』（共著、山川出版社、1997年）、『日本中世の歴史2 院政と武士の登場』（吉川弘文館、2009年）など。

申し込み方法

こちら (<https://forms.gle/KRsYipV5GFQC6ckJ6>) からお申し込みください。

あるいは下記の問い合わせ先にご連絡ください。

■ 新型コロナウイルス感染症対策：新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで開催します。

37.5°以上の発熱がある方、風邪の症状などがある方、過去2週間以内に感染が拡大している国・地域への訪問歴がある方、そのほか感染の可能性のある方はご来場をお控えください。入場前に検温をさせていただきます。37.5°以上の発熱がある場合入場をお断りします。氏名と連絡先のご記入をお願いします。会場内でのマスクの着用をお願いします。

感染拡大状況によっては、オンライン開催に変更する場合がございます。

その場合、お申し込み済みのみなさまには直接メールにてご連絡さしあげます。

問い合わせ先：信州大学人文学部金井研究室

390-8621 松本市旭3-1-1 Tel 0263-37-3247

e-mail kanait@shinshu-u.ac.jp

お申し込み用 QR



MAP

